



TSUYAMA JC NEWS  
A S H I T A

2020 Vol.4

- 01 特別対談
- 02 那岐ビークス タフトレイルチャレンジ対談
- 03 コロナに負けない!津山のうまいもん
- 04 TRYHOOP開幕戦告知



<http://tsuyamajc.or.jp/>



<https://www.facebook.com/tsuyamajc/>



特別対談

スポーツの  
あした

中島聡

TRYHOOP代表

橋本安弘

一般社団法人 津山青年会議所  
第63代理事長

一般社団法人津山青年会議所  
Junior Chamber International TSUYAMA



TSUYAMA JC NEWS  
A S H I T A

2020 Vol.4

(令和2年12月発行)

発行 一般社団法人津山青年会議所  
発行責任者 一般社団法人津山青年会議所 岡山県津山市山ノ上30-9 ☎ 0868-22-6713 E-mail info@tsuyamajc.or.jp  
津山JCボランティア委員会 委員長 松田和也

コロナに負けない!津山のうまいもん | 津山青年会議所会員の飲食店を紹介します。

季節の味を楽しめるアットホームなお店



居酒屋「和楽家」は、一日の疲れを料理とお酒のおもてなしで癒やしていただけるよう、一品料理、本日のおすすめなど季節の味をお楽しみいただけるメニューとなっております。また、一品料理、お弁当、オードブルなどテイクアウトも承っております。お一人様からでもお気軽に入っていただけるアットホームなお店です。ほっと一息つきたい夜、気の合う仲間と楽しく過ごしたい夜、どのようなシーンでも対応できるよう精一杯のおもてなしをさせていただきます。毎日笑顔で元気にお待ちしております。

居酒屋「和楽家」

津山市橋本町3 TEL 0868-35-2728

一人鍋も楽しめる鉄板焼き居酒屋



居酒屋三枝春は鉄板焼きがメインの居酒屋です。1階にカウンターと個室、また2階には座敷とキッズルームを完備しているので、様々なニーズのお客様に対応いたしております。鍋も一人前から承っておりますので、これからの時期はカウンターで1人鍋もおすすめです。新型コロナウイルスの影響で大変な時期ですが、スタッフ一同元氣いっばいお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。系列店の串かつ だるま屋も合わせてよろしくお願いたします。

居酒屋三枝春

津山市戸川町12-6 TEL 0868-24-5353

ひとりでゆくり楽しめるメニューも豊富



ビストロパラディソはイタリアンで、パスタ、ピザのほかに和牛100%のハンバーグディナー、和牛ステーキディナー等ございます!深夜までの営業でお一人様からでもゆくりお楽しみいただけるフードメニュー、ドリンクメニューも多数です。今年、全世界で新型コロナウイルスにより大変なことになっていますが、コロナ対策をしっかりとしながらお客様に安心、安全で皆様にもっともっと笑顔になっていただけるよう、頑張っていきます。お気軽にお問い合わせください!

ビストロパラディソ

津山市元魚町27 アップルビルウエスト1F TEL 0868-24-7818

串料理と豊富な居酒屋メニューが楽しめる



昔を彷彿とさせるBGMに個室数4つと、最大30名まで入れる座敷がある居酒屋『黒べえ』。焼き鳥、焼き野菜、串カツ、牛串と串料理がメインであり他にも居酒屋らしいメニューも豊富に取り揃えております。このコロナ禍の中お客様の足取りは遠のきましたが、その際に店員のマスク着用の義務化、消毒の徹底など会社全体で取り組んで来ましたが、今後もコロナに負けないように頑張っていきます!

居酒屋『黒べえ』

津山市南新座34 アリコボールしんぎ1F TEL 0868-23-3988

**WA! 83 LEAGUE 2020-2021 SEASON**

**トライフープ岡山**

ホーム開幕戦 01.16 [SAT] 16:00 / 17 [SUN] 13:00 VS 岐阜スーパース / 津山総合体育館

前半戦 Home Game Schedule

01.23 [SAT] 16:00	/	24 [SUN] 13:00	VS 鹿児島レブリイズ	02.13 [SAT] 16:00	/	14 [SUN] 14:00	VS アイシンAWアレイオンズ
03.13 [SAT] 16:00	/	14 [SUN] 13:00	VS 豊田合成スコーピオンズ	03.27 [SAT] 16:00	/	28 [SUN] 13:00	VS 八王子ビートルズ
			AT 津山総合体育館				AT 津山総合体育館

前売りチケット好評発売中! 詳しくはトライフープ岡山公式WEBサイトへ! <http://tryhoop.com/> 最新情報を公式SNSでチェック!

<http://tsuyamajc.or.jp/>



<https://www.facebook.com/tsuyamajc/>



ホームページ、Facebookにて、事業や運動のご報告などを随時発信しております。

津山JC



いと考えています。続いてまちづくりの観点からお聞きします。2019年にBリーグに参入されて、ホームタウンを津山市、岡山市の2ホーム制で活動をされています。我々も初のプロスポーツチームができたことに大変期待しております。TRYHOOPとして、この津山に対する想いをお聞かせください。

**中島** 自身、薬剤師として5年間美術で



特別対談  
**スポーツのあした**  
**中島聡 × 橋本安弘**  
 TRYHOOP代表  
 一般社団法人 津山青年会議所  
 第63代理事長

**橋本理事長(以下、橋本)** TRYHOOPは5人制チームのBリーグ(ジャパン・プロフェッションナル・バスケットボールリーグ)に参入され、現在プロバスケットチームとして活躍されていますが、その経緯を教えてください。

**中島代表(以下、中島)** 2014年にバスケットのスクールを立ち上げました。自分がどのような形でバスケットに貢献できるかを考えていて、加えて大阪のプロチームに所属していたときに感じた「街にプロクラブがある環境」が素晴らしいと思ったことが立ち上げた大きな理由です。「街にプロクラブがある環境」がある大阪では、子供たちがプロコーチの素晴らしい指導が受けられる機会が多く、プロ選手と触れ合った子供たちの多くがプロ選手になりたいという夢を持っていました。プロを経験した指導者による指導を誰もが受けられるのなら、それは子供たちのためになるのではないかと感じ、プロクラブがない岡山にはバスケットスクールが絶対に必要だと行動に移しました。そこでバスケットが好きな薬剤師仲間と一緒に、これまでの経験を活かしたバスケットスクール兼レンタルコート

トの(株)TRYHOOPを起しました。薬剤師を続けながら何とか3人で2000万円を投資し、後にはひけない覚悟で臨みました。これがTRYHOOPの始まりでした。そして生徒が少しずつ増えていく中で、生徒から「プロになるにはどうすればいいんですか?」や「どうして岡山にはプロチームがないんですか?」など質問を受けました。それならいっそプロチームを設立すれば、子供たちがより夢や目標を具体的に持ちやすいのではないかとプロチームの設立に踏み切りました。こうして2018年にプロチームができあがりしました。

**橋本** 設立までのお話の中で、子供たちというキーワードが出ました。地域に住む子供たちのために立ち上がり、子供たちの夢を形にできるプロチームとしてTRYHOOPができたことがわかりました。津山青年会議所としても、未来を担う子供たちにとってスポーツは、生涯にわたって逞しく生きるための健康や体力の基礎を育むとともに、公正さと規律を尊ぶ姿勢や克己心を養うなど人間形成に重要な役割を果たすものであると考えます。我々と共通する考えをもっていると感じます。

**中島** 子供たちにはバスケットボールを通じての健康や体力の増進はもちろんですが、社会に出てから必要とされる礼儀や協調性なども身に付けてもらいたいと考えています。きちんと挨拶をしたり、自分たちで考えて行動させるメニューを組んだり、能動的に助け合わないとできない練習をしたりなど、色々と子供の成長を考慮したメニューをに、地域に密着し、地域と共に成長できるチームを目指しています。

**橋本** 津山青年会議所としても、津山市が僅かな滞在時間で市外の目的地に向かう通過型観光地の現状にあることから、情報発信力の強化を図るとともに、市内の回遊性を促進し、滞在時間を増やす取り組みが必要であると考えています。TRYHOOPを中心とした、スポーツツーリズムの推進を図ることで、交流人口の創出を狙う新たな取組も今後は見込めると考えております。

**中島** 年間を通じて毎年10試合程度行われるようになると、毎年試合を観に数万人を超える人が津山を訪れるようになる可能性があります。その人たちが仮に1万円ずつ使用すると毎年数億円の経済効果を生むこととなります。新潟と同じように新たに複数の飲食店ができたり、街に若者が増えたりと地域活性化に繋がると確信しています。

**橋本** TRYHOOPが津山の貴重な観光資源として成長できるよう津山青年会議所としても取り組んでいきたいと思っています。その上で、今後も地域に密着し、サポーターを増やす必要があると思います。オフシーズンに開催される津山納涼ごんごまつりや、地域の催しに対して参画できればよりサポーターを増やし、地域から愛されるチームを作ることができると思います。

**中島** 地域の行事への参加や小、中、高校訪問などは積極的に行っていきたいと考えています。選手たちやチームの人間と直接触れ

スクール活動では行っています。スポーツには子供たちの成長にとって重要なことが学べます。人間形成の面では「TRYHOOPと津山青年会議所が目指す理念は共通した考えですね。」

**橋本** 青少年健全育成として、今後ともTRYHOOPと津山青年会議所でパートナーシップを組んで取り組んでいければと思います。また津山青年会議所が運営している、津山市民憲章推進協議会とTRYHOOPとのパートナーシップを組み、地域に住む青少年健全育成につながる取り組みを実施したいです。

合うことにより親近感が増し、より応援のしがいを持ってたり、子供たちにはより夢や希望を具体的に持ちやすくなると考えています。地域の皆様に必要とされる、愛されるチームを目指して活動していきます。是非、イベントなどあるときはお声かけいただきたいです。

**橋本** 是非、お声がけさせていただきたいと思っています。若者が地域の未来を考えるためには、それを引っ張っていく若者の存在が重要だと思っています。津山青年会議所として、TRYHOOPとタッグを組み、スポーツという観点から、地域に住む人のシビックプライドを醸成し、愛溢れる郷土つやまの実現に向けて邁進してまいりますので、今後とも何卒よろしく願っています。



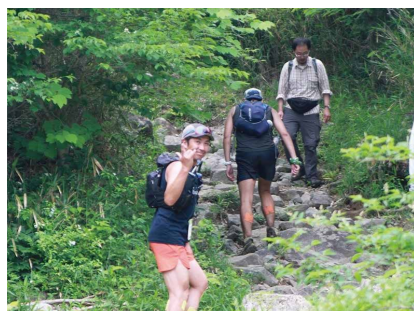
漂えど沈まず  
**中島聡**  
 Satoru Nakajima

昭和59年9月、大阪市に生まれる。岡山大学薬学部卒業後、ファイサンス岡山に所属。岡山青年男子代表に選ばれる。平成23年に大阪EVESSAに所属し、3x3 TOURNAMENT.EXE 2014で優勝。2014年勝TRYHOOPを設立し代表に就任

スポーツで郷土つやまの創生  
 僕らの挑戦が、未来を変える

**橋本安弘**  
 Yasuhiro Hashimoto

昭和55年7月、津山市に生まれる。明治大学卒業後、株式会社サイバーエージェントに入社。平成20年に鶴山不動産株式会社に入社し、平成21年に代表取締役社長に就任後、現在に至る。一般社団法人津山青年会議所には平成21年1月に入会し、平成25年心の教育推進委員会委員長、平成27年岡山ブロック協議会真のリーダー育成委員会委員長、平成28年中国地区協議会運営専務、平成31年中国地区協議会副会長を歴任。



山の消防局と連携をしています。山の中で参加者に何かあった際、ヘリコプターを呼びますが、ヘリコプターから吊るすタンカーが近隣にはありません。したがって岡山から発進したヘリコプターの到着を待つ必要があります。ハード面で足りない課題も見えてきました。また、地域の方の理解を更に深める必要があります。山を貸し切った大会を実施することはできません。山登りをするハイカーがいる中で、大会開催となります。山道の狭いエリアもあるなかで、下からトレイルランで勢いよく上ってくる人をハイカーがよけると、いつまでたっても山登りができないというクレームを受ける事がありますし、ハイカーのマナーとして、すれ違う方に一礼をするといったものがあります。トレイルランでは、なかなかそれができません。大会を

開催する前は事前に看板で告知の実施や、山の整備を行って地域に理解していただく活動を行っています。そして安全面での取り組みとして、今後は参加者にGPSをお渡し、参加者が安全にコース内を進行しているかを目視できる取り組みを行っています。

**橋本** 私も個人的に山登りが好きですので、是非参加したいと思っています。

**三村** 是非参加してください。那岐ピークスの最大の売りは、チャレンジ57kmコースにおいて高低差は約4,590mあることです。これを制限時間15時間30分で完走します。ゴールできるのは約6割程度になります。私は100kmのマラソンの方がまだ楽だと思えます。大変苦しいことの連続ですが、ゴール

の達成感だけはクセになりますよ。期限があり、苦悩もあります。が、達成した時の喜びがあるのは青年会議所に似ているかもしれません。

**橋本** 那岐ピークスは津山にある豊かな自然をスポーツの場として活用し、その地域に住む方々を巻き込み活性化を行なった上で、観光に結び付けるといった素晴らしい取り組みであると思います。本年度津山青年会議所は、持続可能なまちづくりとシビックプライドの醸成、地域が稼ぐ広域観光と地域ブランド戦略を掲げて運動をしてみたいです。まさに那岐ピークスはそれをスポーツという形で実践されている素晴らしい事例だと思います。今後も地域活性化に向けて津山青年会議所としても協力関係を結んでいければと思います。



# 那岐ピークス タフトレイルチャレンジ

三村文彦 × 橋本安弘

那岐ピークスタフトレイルチャレンジ  
実行委員長

一般社団法人 津山青年会議所  
第63代理事長

してきました。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催は中止となりましたが、2019年は県外、海外の方を合わせて約700名が参加する大会にまで成長しています。

**橋本** 那岐ピークスでは、約700名の観光客が見込めるスポーツイベントとして成長しているとの事ですが、津山青年会議所も本年、津山圏域の観光を一つの課題として考えて活動を行ってきました。地域の豊かな自然を観光に活用することは、まちの活力に繋がることだと思います。

**三村** まさにその通りです。開催趣旨は、地域にある自然資源「那岐山系」を活用できるトレイルランと観光を組み合わせた誘客活動を推進し、スポーツツーリズムにおける観光プランディングを形成することにあります。地域の観光産業との連携を行う事で、地域の活性化を図っています。また、地域住民や団体の参画する「参加型の楽しめるイベント」を実現し、交流人口の拡大を図ることを目的としています。地域住民や団体の参画するスポーツイベントを開催する上で、地域の方に理解していただくことが重要になります。これが本当に大変でした。トレイルランに対する理解をいただくため、地域の方に

ご説明したり、地域を巻き込むために各種団体にお声がけしたりと苦労しましたが、今では各地域の公民館をエイド(休憩所)として開放し、地域の方のボランティアで運営していただくことで、おもてなしと、参加者と住民の交流による地域活性化が図れています。

**橋本** 那岐ピークスを開催して2020年で3年目となりますが、開催する上での課題、今後取り組んでいきたい事はありますか。

**三村** 緊急時の対策として消防局との連携が必要ですが、我々は岡



## 地元の人が地元を 考えるまちづくり

三村文彦  
Fumihiko Mimura

昭和45年10月、津山市に生まれる。九州共立大学卒業後、株式会社サンキに入社。平成12年、三村医院事務長就任、(一社)津山青年会議所に入会。平成22年、卒業。平成31年、那岐ピークスタフトレイルチャレンジ実行委員長に就任。